卒業生による講演会

中二校外学習　令和六年十二月四日

中学二年生は十二月四日(水)に天満天神繁昌亭と山本能楽堂へ、落語・狂言鑑賞に行きました。

落語鑑賞では本校卒業生の林家染雀さんをはじめとした本格的な上方落語を鑑賞しました。生徒一人一人が語りの情景を思い浮かべ、「オチ」を予想し、会場は笑いの渦に包まれていました。

狂言鑑賞では、室町時代の言葉に苦戦しながらも、狂言師の方々の演技によって笑いどころでしっかりと笑いが起きていました。ワークショップでは生徒八名が舞台に上がり、能・狂言のお面を実際に着用させていただきました。

これを機に、日本の様々な伝統芸能について興味関心を深めてほしいと思います。

（西原）

中三対象　令和六年十二月十日

十二月十日（火）、本校卒業生でありエンタメ集団『やる気あり美』の創設者である太田尚樹氏と、同じく卒業生で『東京レインボープライド』の実行委員を務める今川雅詞氏に講演をしていただいた。どちらも性的少数者への理解と人権について啓発する様々な活動をされている方である。

性的少数者の人は左利きの人と同じくらいの人数いること、LGBTと言っても様々なバリエーションがあること、アウティングは絶対にしないこと、などご自身の実体験も織り交ぜながら対談形式で話していただいた。

自分の周りにもそういう方々が必ずいることを前提に、普段の言動に気を付けて、今後の人生に活かしてほしいと思う。

（白木）

中一対象　令和七年二月二十一日

（株）テルミーソリューションズ
代表取締役社長
山本光平氏（七期生）

本校OBで、大阪にある美容院グループの三代目社長でもある山本さんの講演会が行われました。異色の経歴の持ち主で、現在は、美容院で毎月切った髪を分析することで病気になるかもしれない兆候をつかみ、未病予防につなげる「毛髪分析」の研究を進めておられ、二〇二五年の万博出展企業にも選出されています（「異能異才パーマ屋のおっちゃん」で検索すればその多彩な人生の一端を知ることができます）。

仮説と検証と戦略のサイクル、失敗を次に活かす、情報を独り占めにせず共有する、等の山本さんの考え方は、本校の二十分テストやチームスポーツを通して培ったもので、気づきと継続が「セレンディピティー」を高めるという大先輩のお話に、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

（堀）

高一対象　令和六年六月十五日

「卒業生から現高一生へ」をテーマとして講演会を実施しました。三人からは、20分テスト5科目の大切さ、日々の授業をしっかり聞くこと、高一は大学受験の基礎の基礎、高三でも規則正しい生活を心掛けること、勉強と部活と行事のメリハリをつけて楽しむこと、テストの直しの大事さ、友人に頼りながら勉強すること、文系理系はゴールでなく通過点、量の多い数学英語を踏ん張って頑張ることといった学習方法、進路、大学受験への心の持ち方など多岐にわたる実のある話でした。最後に、生徒から質問が多数あり、質問者一人一人に対して丁寧に熱く答えて頂き、生徒も生き生きした表情で聞いていました。再来年に大学受験を控えた生徒にとって、進路、職業選択のモチベーションとして大いに刺激を受けたものと感じています。

（井藤）

講演者の言葉

大阪・外国語　**岩田　羽留**さん（57期）

将来を意識し始める高一生に日々の授業や基礎の大切さ、文理選択は自分の夢で決めてほしいということなどを伝えました。そして僕が何より大切にしてほしいことは、学校の存在です。友人とのお喋り、部活や行事など二度と戻らない青春が沢山詰まった6年間でした！そして受験勉強も最後まで一緒にいてくれた友人、先生方のおかげで一生の思い出となりました。

メリハリをつけて勉強し、金蘭千里での青春を謳歌して下さい！

滋賀医・医　**小谷　星衣良**さん（57期）

私は主に、20分テストのやり直しについてお話しさせていただきました。金蘭千里の20分テストの内容は他校の中間テストレベルだと思います。そのため20分テストのやり直しをするだけでも、各分野の知識の整理ができ、暗記系のものもメンテナンスができます。実際、私は受験期に中1から高3までの全ての20分テストをやり直しました。これによって、中高一貫校特有の中弛みでぐずぐずだった基礎が出来上がったと思います。現時点で、「勉強しなきゃいけないけど何からすれば良いのか分からない。」という方がいらっしゃれば、是非とも20分テストのやり直しから始めることをお勧めします。末筆ながら、皆さんが思い出に残る青春を過ごせるようにお祈り申し上げます。

大阪・歯　**城田　有輝**さん（57期）

今回高校一年生の方々に講演させていただき、講演を通して感じたことを伝えさせてもらおうと思います。

僕が感じたのは明るく、やる気のある学年だったなということ。講演終盤の質問タイムでは時間をオーバーするぐらい質問をしてもらい驚きつつも凄く嬉しかったですし、講演終了後も個人的に相談に来てくれる方が何人もいました。このような積極的に物事に取り組む姿勢は受験においても学校生活においても物凄く重要で一番手に入れ難い能力であると思います。

皆さんが学校生活を存分に満喫し、明朗快活な学校になることを祈念しています。

金蘭千里60周年。つづくカクシン

ウインターコース（冬季講習）の再編

二学期終業後、四日間のスケジュールで午前中授業を行ってきた本校「ウインターコース」は2024年度より、スキー・スノーボード合宿や英会話の集中講座を含む自発的な活動に取り組める期間に刷新しました。当該期間中は登校自習や自宅学習も選択可能で、年末は各自の希望や問題意識に応じた過ごし方を選択できるようにしています。